

鳥取県元気づくり総合戦略

～ 響かせよう トットリズム ～

- 鳥取県には、都会にはない「豊かな自然」、「人と人との絆」、心豊かな暮らしを実現できる「幸せを感じる時間」があります。このような強みを中心となる3つの考え方として設定し、地方創生を実現するための指針として「鳥取県元気づくり総合戦略」を平成27年10月に策定しました。
- 地元で活躍する産業界や様々な知識・人材を有する高等教育機関、金融機関、労働団体、NPO法人、報道機関、地方創生の取組の主役となる市町村の皆様と共に、取組を進めていきます。

【目標】 県内から消滅可能性都市をゼロに！

自然減に対する目標

- ① 2030年までに合計特殊出生率を県民の結婚・出産の希望が叶う水準(希望出生率 1.95)まで引き上げる
- ② その後、国の想定より早く合計特殊出生率を人口置換水準(2.07)まで引き上げる

社会減に対する目標

- ① 転出超過を今後5年かけて半減させる
- ② その5年後、転入転出者数を均衡させる

人口ビジョン (自然減・社会減への同時アプローチを進めた場合の鳥取県の姿)

- ◆ **2040年推計人口 48.9万人** (国推計 44.1万人に比べ約5万人増)
- ◆ **2060年推計人口 43.4万人** (国推計 33.4万人に比べ約10万人増)
 - 2080年代には人口が安定する (人口減少が下げ止まり定常状態へ)
 - 早期に人口構造が若返り始める (高齢化率のピーク40%が34%と抑制され、2040年代半ば以降は低下)

元気づくり総合戦略 基本姿勢

豊かな**自然**で
のびのび鳥取らしく生きる

【政策分野】

観光・交流
農林水産業
エコスタイル

人々の**絆**が結ばれた
鳥取のまちに住む

【政策分野】

出会い・子育て
人財とっとり
支え愛

幸せを感じながら
鳥取の**時**を楽しむ

【政策分野】

移住・定住
働く場
まちづくり

戦略期間 2015年度(平成27年度)～2019年度(平成31年度)

地方創生の取組推進 P D C Aサイクルにより毎年度効果を検証

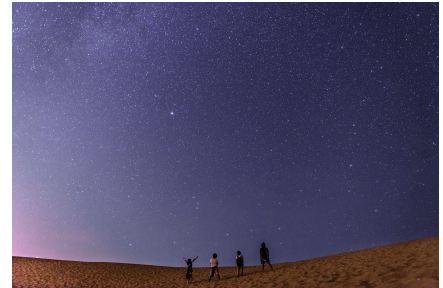
豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる～鳥取+ism～

<基本目標>

観光入込客数▶1, 100万人（年間）

外国人宿泊客数▶15万人（年間）

農林水産業の新規就業者数▶1, 800人（5年間）



観光・交流

多様な観光資源を活かした戦略的観光立県

- 鳥取砂丘、国立公園大山、日本遺産に認定された三徳山・三朝温泉や大山山麓地域など鳥取を代表する観光地や地域に眠る宝の磨き上げ、着地型メニュー造成や周遊観光ルートづくり
- 自然、歴史、食などと組み合わせた鳥取ならではの温泉地の魅力づくり
- 特別寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」など列車を活用した地域の賑わい創出
- 大山開山 1300 年に向けた大山ブランドのイメージ形成
- 世界ジオパーク第三期認定に向けた山陰海岸ジオパークの磨き上げ
- 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致や「ホストタウン」の推進、競技団体等と連携したスポーツイベントや合宿誘致などスポーツコンベンションの推進



- サイクリングルートの全県展開や全県を横断するロングトレイルの環境整備※
- 生涯スポーツ（グラウンド・ゴルフ、マスターズ陸上など）の推進・ブランド化
- 「山の日」記念全国大会の開催など、緑豊かな自然やエコツーリズムの県内外への魅力発信と環境整備※
- SNS等の活用など性別・地域・国などターゲットを意識した戦略的な情報発信

外国人が憧れる鳥取

- 鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港の「空の駅」化などまんが王国とつとりを満喫する受入環境整備
- 県内発着の国際定期便・定期航路の活用、チャーター飛行機やクルーズ船の誘致による外国人観光客誘客と県内観光消費額の増加
- 既存宿泊施設の洋室化などの環境整備、民泊等による滞在型の観光地づくり※



米子香港便(H28.9月運行開始)

広域連携による観光誘客の推進

- 山陰広域観光周遊ルート「縁の道～山陰～(Route Romantique San'in)」形成など広域連携を活用した誘客による宿泊者数や観光消費額の増加
- 山陰DMO「山陰インバウンド機構」を中心とした観光地域づくりと圏域DMOの設立や活動の支援
- 関西広域連合、中国5県や民間企業と連携した情報発信・プロモーションの実施による県外主要空港からの外国人観光客誘客
- 他県との連携によるサイクリングルートの整備と活用による国内外からの誘客促進※

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
1人当たり観光消費額（県外・日帰）	6,228円 (H23～25平均)	→	7,300円 (H30)
1人当たり観光消費額（県外・宿泊）	24,655円 (H23～25平均)	→	27,000円 (H30)
宿泊者数	250万人	→	280万人 (H30)
主要観光施設の無料公衆無線LANカバー率	72%(H27)	→	90%
空港利用客数	88万人	→	111万人
消費税免税店舗数	41店舗	→	120店舗
DMO設置数	東・中・西部各1団体 及び山陰圏域1団体		

（備考）※印は、平成29年度改訂により追記したものです（以下同じ）。

農林水産業

将来を担う若き担い手の活躍

- 本県独自の技術認証「スーパー農林水産業士」制度の導入による実践的な職業教育の推進※
- プロ農家育成を目指す「とっとりアグリ人材育成システム」や農林高校と森林組合等が連携した人材育成システムの構築、水産系学科を有する県内高校と連携した漁業を目指す若者の育成
- 子育て支援や住宅の確保など、就業した若き担い手の定着支援の強化

農林水産業の活力増進

- 園芸・畜産分野の基盤強化や県開発品種の導入推進等による農業所得の向上
- 農業産出額 10 億円以上を目指すエース級園芸品目の育成
- 「白鵬 85 の 3」・「百合白清 2」といった日本一の高能力種雄牛の活用などによる「和牛王国とっとり」復活、酪農基幹牧場(メガファーム)の整備
- CLT 等付加価値の高い木材製品の創出など県産材活用を推進し、「木づかいの国とっとり」を実現
- 食用きのこや薬用きのこ等の新たなきのこ産業の創出、「鳥取茸王」などのブランド化の推進
- 栽培漁業や養殖業による「つくり育てる漁業」推進
- 農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門の「鳥取ナシ育種研究サイト」を通じた梨品種の開発、人材育成及び産地づくり※

豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成

- 地理的表示保護制度の活用や国際認証の取得促進などによるグローバルマーケットへの展開
- 6次産業化の推進による加工ミッシングリンク解消
- 高品質な農林水産物のトップブランディングによる「食のみやこ鳥取」のブランド力向上
- 岡山県連携によるアンテナショップの活用や共同物流システムの構築など、都市圏への販路拡大

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
農業産出額	679 億円 (H25)	→	700 億円
農業産出額 (10 億円以上の品 目数)	8 品目 (H25)	→	10 品目
和牛繁殖雌牛頭数	2,900 頭	→	3,900 頭
素材生産量	21 万㎡ (H25)	→	36 万㎡
漁業所得	36 億円 (H25)	→	45 億円
養殖による水揚量※	706t (H28)	→	2,500t
農林水産物及び加工 品の年間輸出額	4.5 億円 (H25)	→	8 億円
6次産業化事業及び 農商工連携事業の取 組累計数	161 件	→	280 件

エコスタイル

豊かな森や里山資源の活用

- 子どもたちが鳥取の豊かな自然の恵みを満喫し、“学び、遊びきる”体験を支援
- 豊かな森の持つフレッシュ効果を活かした森林セラピーなど、大自然の中でゆったりとくつろぎを提供できる癒やしの地域づくり
- 半農半Xなど里山における多様なライフスタイルの実現
- 若手狩猟者の育成等による鳥獣捕獲体制の強化や処分、加工、販売に至る一貫したシステムづくりへの支援

次世代エネルギーの推進

- 再生可能エネルギーを活用した「グリーン水素」の供給インフラの整備やバイオマス・小水力をはじめとした多様な発電の推進、新規電力立ち上げ支援など再生可能エネルギーの地産地消
- メタンハイドレートをはじめとする海洋資源の調査・開発を行う専門人材の育成及び活用を通じた研究開発及び人材育成の拠点化

森のようちえんの様子



<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
自然公園年間利用者数	730 万人 (H24)	→	800 万人
若手狩猟者免許保有者数	155 人	→	300 人
水素供給1万整備数	—	→	4 箇所 (H32)
新電力会社設置数	—	→	3 社 (H30)
メタンハイドレート 研究者・技術者育成累 計数	—	→	16 人

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む～鳥取+住む～

<基本目標>

合計特殊出生率▶1.74 (H31)

未来人材育成奨学金助成者数▶600人(4年間)

ふれあい共生ホーム設置数▶全19市町村で65箇所



出会い・子育て

若者の出会い、結婚の希望を叶える

- 1対1の出会いの場“とっとり出会いサポートセンター”によるマッチング支援
- 企業・団体等と協働した出会いの場づくりなど、若者の出会いや交流機会の拡大

安心の出産・子育てを応援する

- 市町村が行う「子育て世代包括支援センター」(とっとり版ネウボラ)の整備支援
- 市町村と連携した教育費・医療費等の子育て世代への経済的負担軽減
- 住民ニーズに基づいて行う夜間・休日保育及び一時預かり事業や病児・病後児保育などの拡充支援

- 放課後児童クラブや放課後こども教室の整備・拡充
- 年度途中の待機児童解消に向けた保育人材確保の推進

地域で子育て世代を支える

- 産前・産後ママの心と体のサポート、子育て世代が気軽に立ち寄れる子育てコミュニティカフェの設置
- 低年齢児の家庭内保育の取組支援
- 三世帯同居・近居する祖父母や地域住民が地域全体で子育てを支援

子育て・介護など、家庭と仕事が両立できる環境づくり

- 家庭と仕事が両立できる職場環境づくりの推進※
- 在宅勤務・テレワーク制度など、多様で柔軟な働き方の推進※
- 鳥取県家庭教育推進協力企業と協定を締結し、家庭教育の充実に向けた職場環境づくりを推進※
- 男性が育児休業、介護休業等を取得しやすい環境づくりの推進※

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
とっとり出会いサポートセンターの成婚数	—	→	80組
子育て世代包括支援センター整備数	2市町村	→	全19市町村
年度中途の保育所等の待機児童数	89人	→	解消を目指す
子どもの貧困対策としての子どもの居場所の数	3箇所(H27)	→	30箇所
学校支援ボランティア数	6,625人	→	9,000人
家庭教育推進協力企業数※	622社(H28)	→	700社
男性の育児休業取得率	3.1%(H23)	→	15%(H29)

人財とっとり

未来を拓く人づくり

- 主体的・対話的で深い学びの実践、ICT(情報通信技術)活用教育、グローバル化に対応した英語教育の推進など子どもたちの学びの質の向上
- 地元企業等と連携したふるさと教育の推進など、「ふるさと鳥取」に愛着と誇りをもった人材の育成
- 放課後や土曜日を活用した学習支援など地域との協力による学習環境充実の取組を支援

地域を支える人財の育成

- 県内就職する大学生への奨学金の返還支援や地元企業でのインターンシップの拡充、学生・生徒への魅力発信など人材確保と若者の地元就職、IJUターンの促進
- 企業及び産業界と連携したキャリア教育の推進
- 介護人材のすそ野を広げる取組のほか離職防止・定着促進を図る職場環境、処遇改善の取組など総合的な介護人材対策の実施
- IJUターナー、女性就業者、定年帰農者、他産業からの参入など、農林水産業における多様な担い手の育成・参入